

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県立岡山一宮高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒701-1202
 岡山県岡山市北区櫛津221

E-mail: rika_kamata@pref.okayama.jp
 Website: <http://www.itinomiya.okayama-c.ed.jp/itiko.htm>

児童生徒数：男子 553名 女子 511名 合計 1064名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 アートマイルプロジェクト

ユネスコ部に所属する生徒が、文部科学省・外務省後援事業であるアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトに取り組んだ。本校のパートナー校であるアメリカ合衆国の Bergen Country Technical High School の生徒と Skype を活用してお互いの学校生活や文化について紹介した。そこでそれぞれの国で多くの人に親しまれている歌を紹介し、その歌詞から絵のデザインを考え、学びの成果として1枚の大型絵画を共同製作した。スカイプを使って直接海外の生徒とコミュニケーションを図ること、相手の国の文化や言葉を尊重し絵画上に表現することを通じ、相手への思いやり、異文化理解が深まった。

2 海外研修

昨年度同様フィリピン・韓国に生徒を派遣し、フィリピンでは環境問題やエネルギー問題、社会問題に関する研修を、韓国では現地の高校と連携した交流活動や研修を行った。

3 フェアトレードの理解と実践

イオン(株)のご協力を得て、フェアトレード商品の開発に携わっている方を講師にお招きし出張講座をして頂いて、フェアトレードの仕組みについて学習を深めた。さらに日本の一企業が途上国の社会問題解決に取り組んでいる一面を知り、企業の社会的責任についても新たに学ぶことができた。校内の文化祭では学んだ内容をポスターにまとめ、展示発表をした。

4 国際理解シンポジウム

元海外協力隊で活躍された2名の講師をお招きし、1・2年生全員と3年生の希望者に講演をして頂いた。それぞれマレーシアのボルネオ島のジャングル地域で障害者支援に携わったご経験や、ザンビアで理数科教師として10代の子どもたちに理科や数学を教えられたご経験について生き生きと報告していただいた。生徒はより広い視野で自分にできる国際貢献とは何かを深く考えることができた。またユネスコ部の生徒がシンポジウムの司会や運営を務め、質疑応答でも参加生徒から多くの活発な意見を引き出すことができた。

5 JICA 中国訪問

国際貢献活動を行っている JICA の取組や開発途上国の現状を理解することを目的とし、東広島市にある JICA 中国国際センターでの研修に参加した。

6 体系的な思考力、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力を育む学校設定科目

7月末に本校理数科1年生による岡山県北部の蒜山高原におけるフィールドワークを行い環境問題や自然科学についての研修を行った。また新たに1年生は英語によるコミュニケーション力を育成するために、新科目「iS イングリッシュ」「iS アカデミック イングリッシュ」を設定し、英語プレゼンテーション力の向上に努めた。2年生全員が取り組む「課題研究」では身近な社会科学・自然科学・人文科学の課題や疑問についてグループで研究を行いながら、情報収集・分析能力や論理的思考力の育成に取り組んだ。

7 ユネスコスクール世界大会 Student(高校生)フォーラム運営

2014年11月に岡山市で開かれたユネスコスクール世界大会 Student(高校生)フォーラムに運営スタッフとして44名の生徒が参加し、様々な役割を分担しながら高校生による高校生のための世界大会を実行した。本番までに運営に携わる大阪や岡山の他校の生徒と何度もミーティングやシミュレーションを行い、海外ゲストを笑顔でおもてなしできるよう全力を尽くした。またディスカッションチームの一員としても本校の生徒が一人参加し、持続可能な社会を作るためには“人々のつながりが大切”というメッセージを世界各国の高校生に向けて発信した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()